

私の意味・語法・発音記憶法

刀裨 雅彦

1. リンクする・まとめる

私は高校生のころ、英単語記憶法の本*¹で「金平糖を取り合い競争する」「ラーメン食べる悲しい受験生」などの語呂合わせによる覚え方を見て、「こんなのは邪道だ」とは思いつつも、自分でも何か単語の意味や語法などのうまい覚え方を作れないものかと考え始めました。それからずっと、自分のため、あるいは学生さんたちのためにいろいろな工夫をしてきました。

大ざっぱに言うと、何かを単独で覚えるのではなく、別のものとうまくリンクすること、あるいは関連する知識をまとめて覚えるいくつかの方法です。『四訂版〈データ分析〉大学入試 アップグレード UPGRADE 英文法・語法問題』（数研出版）、その他の参考書、私のブログ（「SPOtheory の日記」*²）などにもいくつか収録していますので、ご存じのものもあるかと思いますが、今回はそれらをまとめてご紹介したいと思います。もし役に立ちそうなものがあればご利用ください。

2. rhyme (脚韻) を生かした「ミニマルフレーズ」で覚える

これは、英語の歌詞、特に rap music などでも用されている **rhyme** という技法を利用する方法です。can't afford to buy a Ford, the noise annoys me のように、英単語を覚えるためのフレーズに rhyme を使うのも単語の音を記憶に焼きつけるのに役立ちますが、ここでご紹介するのは rhyme を使ってまぎらわしい単語の形と意味をリンクする方法です。

たとえば、economic と economical の意味が区別しにくいので困っている学生さんが多いことと思います。そこで、**形容詞と名詞の語尾の音をそろえた**こんなフレーズにしてみました（「経済的な」という訳は意味があいまいになるので避けています）。

- 1) economic risk 「経済のリスク」
- 2) economical travel 「安上りの旅」

これらのフレーズを、語尾の発音を意識しながら音として覚えておけば、和訳を覚えなくても英語のフレーズを思い出すだけで正しい意味を確認することができますでしょう。

boring 「(人を)退屈させる」と bored 「(人が)退屈している」の区別はできる人が多いでしょう。-ing と -ed という形の違いが意味の違いとして認識されているからです。しかし scary 「(人を)こわがらせる」と scared 「(人が)こわがっている」の使い分けはどうでしょうか。これらを混同するのは、どちらも単に「こわい」と覚えてしまう人が多いうえに、scary という形が -ing の形をしていないからでしょう。scary の誤用を防止するために作ったのが次の rhyme フレーズです。

- 1) a scary story 「こわい話」
- 2) a scared child 「おびえた子供」

これらはどちらも実際に頻度が高いコロケーションです。The story is scary. と The child is scared. で覚えてもいいでしょう。The scary story made the child scared. と 1 つにまとめたものもあります。

doubt + that 節と suspect + that 節の意味は、正反対と言ってもいいほど違うのにもかかわらず、どちらも「～と疑う」と訳してしまうせいで非常に混同されやすくなっています。この状態を脱するため

- 1) doubt that S V ≙ don't believe that S V
- 2) suspect that S V ≙ suppose that S V

ご覧のように、これは rhyme ではなく **alliteration** (頭韻)を含んでいます。学生に提示するときは、太字の音を意識しながら覚えるように指示しています。へたな和訳をするよりもこのようにパラフレーズするほうがわかりやすいと思われます。

imagine から派生する 3 つの形容詞も覚えにくかったので、語尾と意味をリンクしたフレーズを考えました。

- | |
|--|
| 1) an imaginary country
「想像上の国」 |
| 2) an imaginative detective
「想像力豊かな探偵」 |
| 3) every trouble imaginable
「想像されうるあらゆる困難」 |

これらについても、フレーズさえ覚えればその和訳は覚えなくても形容詞の意味がわかるように、組み合わせる名詞を選びました。私自身これでしっかり記憶できました。

3)のフレーズは **imaginable** によって強調されることが非常に多い **every** とともに、名詞のあとに置かれるという語法も覚えられるように作りました。もちろん、正攻法は 2)の **V-tive** 「V する力がある」、3)の **V-able** 「V されうる」という接尾辞の意味を知ることです。-ary という語尾にはあまり明確な意味はないと思われますが、1)の **imaginary** は **legendary** 「伝説上の」といっしょに覚えるのもよい方法です。意味も似ていますね。

letter 「文字」に関係する 3 つの形容詞についても同様にフレーズを考えました。

- | | |
|------------------------------|-----------|
| 1) literary history | 「文学の歴史」 |
| 2) a literate student | 「教養ある学生」 |
| 3) literal denial | 「文字通りの否定」 |

2)は頻度では **literate peasant** が多いのですが、**peasant** はやや難しい単語です。視覚的には **literate graduate** 「教養ある卒業生」のほうがいいと思います。3)は、頻度はかなり高いのですが、ちょっと意味がわかりにくいかもしれません。

音を利用する方法は形容詞 + 名詞の組み合わせに限定されません。よく **physician** 「(内科などの)医

者」と **physicist** 「物理学者」を混同する人がいます。どうしたら覚えられるでしょう？次のように同じ音で終わる単語とリンクしてみました。

physician 「医者、内科医」 — surgeon 「外科医」
physicist 「物理学者」 — chemist 「化学者」

physician と **physicist** をそれぞれ単独で暗記するより、こんなふうに音と意味が近い他の語と結びつけて覚えるほうがしっかり記憶できます。

3. pun(だじゃれ)による記憶法

letter 系形容詞についてはもう一つ、だじゃれによるアプローチも考えました(高校生のとき自分で実際に使ったのはこちらです)。

- | |
|--------------------------------------|
| 1) literary 「アリの文学」(ファーブル昆虫記) |
| 2) literate 「当て字が読める」 |
| 3) literal 「書いてある通りの」 |

むりやりですが、これで覚えられる人もいるかもしれませんので記しておきます。

4. lie と lay をどう覚える？

lie と lay は学生にとってはやっかいな動詞で、ネイティヴスピーカーもしょっちゅう混同します。*The Catcher in the Rye* の主人公 Holden も間違っています。実際の会話などでは過剰に神経質になる必要はないと思いますが、入試問題にはあいかわらず出題されています。これも次のように音に注目して覚えるとよいでしょう。

lie [lai] は yokotawaru	lie; lay; lain
lay [lei] は yokotaeru	lay; laid; laid

偶然でしょうが、英語でも日本語でも自動詞が母音の a になっているところが他動詞では e になっていることに気づいてから、間違うことがぐっと減った思い出があります。

授業では、**You lie when you die.** 「人は死んだら横たわる」、**Lay the patient.** 「患者を寝かせなさい」という押韻もたまに使います(英語の医療関係の書籍には **Lie the patient on his back.** のよう

な文はごく普通に使われていますが)。

語形変化は, lay; laid; laid のほうは実は発音的には規則動詞なのですが, 同じパターンの pay; paid; paid とリンクしておくとうれいでしょう。lie; lay; lain は他に似たものがないので覚えるしかありません。

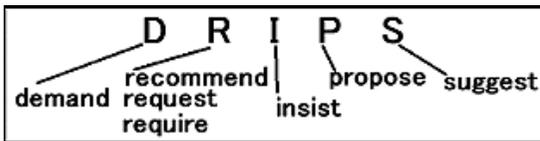
同じように rise と raise も次のように覚えることができます。

rise [raiz]	は	agaru	rise; rose; risen
raise [reiz]	は	ageru	raise; raised; raised

他に Prices are rising. や raise her pay などのフレーズはいかがでしょうか？

5. 語法リストの単語を頭文字で覚える

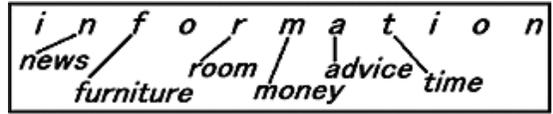
これは, 動名詞のみを目的語にとる動詞を覚えるための有名な(MC)MEGAFEPSDA と同じような手法です。あとの that 節に動詞の原形が使われる要求・提案・依頼など動詞は文法問題の常連ですが, その中でも特に頻出するものを一度にまとめて覚える方法を考えてみました。



これは, demand, recommend, request, request, insist, propose, suggest の頭文字を並べて作ったものです。MEGAFEPSDA とは違ってちゃんと意味がある単語です。これだけ覚えれば, that 節に原形を使う動詞の文法問題は 9 割ぐらいカバーできるでしょう。

6. よく使う不可算名詞の覚え方

名詞の可算不可算の区別は文法問題でも作文でも重要です。よく出てくる不可算名詞をまとめて覚えておくと安心できます。重要な不可算名詞に **information** がありますね。あるときふと, この単語のつづりに重要な不可算名詞の頭文字がいくつも含まれていることに気づきました。



これで information を含め 7 個の不可算名詞を覚えることができます。room は「余地」の意味のときです。time は言うまでもなく「期間, ひととき, 回数」などの可算名詞の用法もあります。

7. アクセントの規則の記憶法

アクセントはご存じのように語尾を見ればわかるものが多いです。語尾にアクセント, 語尾の直前の母音にアクセント, 語尾の 2 つ前の母音にアクセントと 3 つのケースがありますが, そのうちで最も重要で数も多い, 直前の母音にアクセントがある語尾を, 語呂合わせでひとつの文にまとめました。

直前の母音にアクセントがある語尾(1)

イアンとイオンが い っしょにはる ぼる			
-ian	-ion	-ish	-val
イカルガシテ い に行く			
-ical	-ity	-ic(s)	

これで politician, religión, establish, survival, económicall, diversít, romántic などのアクセントの位置がわかります。

これらの語尾にちょっと変形を加えれば, さらにいくつかの語尾もこれにリンクして覚えられます。

-ian の a を e に変え, 最後に t や ce をつけると -ient, -ience になります。-val と同じく -sal も直前アクセントです。-ical の c を抜くと -ial, さらに i を u にすると -ual になります。-ity の i を e にした -ety も直前にアクセントがあります。(-val, -sal の直前にアクセントがあるのは, 動詞の名詞形の場合です。festival などは別です。spíritual も例外です。)

もうひとつ, 上の覚え方でカバーできていない重要語尾をまとめたものがこれです。

直前の母音にアクセントがある語尾(2)

いつでも シブ く キメてるね			
-itude	-sive	-que	-meter
-itute			

これで **áttitude**, **ínstitute**, **expénsive**, **techníque**, **speedómeter** などのアクセントがわかります(いくつか例外はあります)。

8. 具体的な単語でアクセントを覚える

語尾によるアクセントのルールを単語から切り離して覚えるより、その語尾を含む具体的な単語でルールを覚えるほうが望ましいかもしれません。**mágnitude** に **-itude** のルールが潜んでいるのを知っていれば、**grátitude** を初めて見てもアクセントがわかります。そういう考え方で作ったのがこの文です。

2つ前の母音にアクセントがある語尾

It's **dángerous** to **críticize** his **phótograph** **immédiately**.

この文で **-ous**, **-ize**, **-graph**, **-ate** の4つの重要な語尾を覚えることができます。

-ate の変形として **-ite** も覚えるといいでしょう。**-ous** は「2つ前の母音字にアクセント」と考えると例外が少なくなります。**enórmous** などはその例外です。**-graphy** は **-graph** とは異なり、直前の母音にアクセントがあります。

9. 発音をフレーズで覚える

英語の発音は **phonics** というつづりと発音の対応規則に基づく学習法があるとはいえ、不規則なものが多いです。原則を覚えるのはいいとして、例外的な語を暗記するのが大変なので、まとめてフレーズにして覚える方法を考えました。次の5つは、いずれも例外的な発音をする母音のつづりを含む語をまとめたものです。

- 1) **break a great steak**
- 2) **a cook in a wool hood**
- 3) **a flood of blood**
- 4) **broadcast abroad**
- 5) **a laughing aunt**

1)「大きなステーキを割る」は **ea** を **[ei]** と発音する3つの語です。冷凍の **steak** の話だと思ってください。2)「毛糸のフードをかぶった料理人」

は **oo** を **[u]** と発音する3つの語です。日本人が特に間違いやすい語3つをまとめました。3)「血の洪水」は **oo** を **[ʌ]** と発音する2個しかない例外です。ホラー映画 *The Shining* のシーンなどを想像してください。4)「外国に放送する」は **oa** を **[ɔ:]** と発音するまれな単語です(**broad** ではフレーズを作りにくかったので **broadcast** を使いました)。5)「笑うおばさん」は **au** を **[æ]** と発音する2つのみの語です。

いかがでしたか? 英語教師のみなさんはすでにいろいろな記憶法が使われていると思いますが、さらにいろいろ作ってみてください。

参考文献等

- * 1 武藤たけ雄(1974). 『増補改訂版 英単語連想記憶術〈第1集〉—心理学が立証した必須4000語の獲得』青春出版社.
- * 2 刀祢雅彦. ブログ「SPOtheoryの日記」
<https://spoththeory.hatenablog.com/>

(駿台予備学校 講師)